

地域・学校での防災情報利活用に関する研究開発

社会防災研究領域 総合防災情報センター／防災情報研究部門 かみだけいご 上田啓瑚

Point

- 地域や学校での防災対策・防災実践に有効な防災情報の提供・共有
- 地域の災害リスクを踏まえた防災実践支援手法の開発
- 気候変動を加味した防災活動の促進に資する情報提供手法の検討



地域防災Web

概要

地域防災Web

地域での防災活動や防災教育において、地域の特性や災害の危険性を把握したうえで取り組むことが重要となります。そこで、地域の自然特性、社会特性、災害の危険性を相対的に提供し、**地域の特性を把握**できるとともに、地域の特性に応じた防災対策や実践等の実践知、人材情報等を推奨するWebサービスを研究開発しています（図1）。

現在、**地域に加え学校現場**での活用を促進し、地域の実情を加味した実践的な防災教育を支援するための手法を研究開発しています。

注目 POINT

- ✓ 新たに、防災教育チャレンジプラン実委員会・内閣府・防災科 研主催「防災教育チャレンジプラン」の2004年～2024年の実践データ計345件と接続し、本サイトにて先進の実践知を参照可能に
- ✓ さらにNHK for Schoolと連携し、NHKの映像データも統合的に検索できるように機能を拡張



気候変動を加味した防災情報の共有

気候変動に伴い災害の頻発化、激甚化するなか、気候変動による**将来の想定と現在の想定を比較**し、気候変動に対する防災実践知を共有可能とすることで、将来を見据えた防災対策の検討を可能とする手法の研究開発を行っています。

注目 POINT

- ✓ 気候変動による将来データベースの可視化モックアップを構築し、比較可能な可視化手法を検討
- ✓ 気候変動適応の研究会「NbSと気候変動適応分科会」等と連携し、29件の自然を活用した解決策と接続し、防災実践事例データベースを拡充



今後の展望・方向性

今後、地域防災Webにおいては学校現場の導入可能性や効果について実践を踏まえ、検討を進めます。さらに、気候変動を加味した防災情報の伝達手法について理解度を調査し、判断や行動に資する情報提供の在り方について、研究開発を進めます。

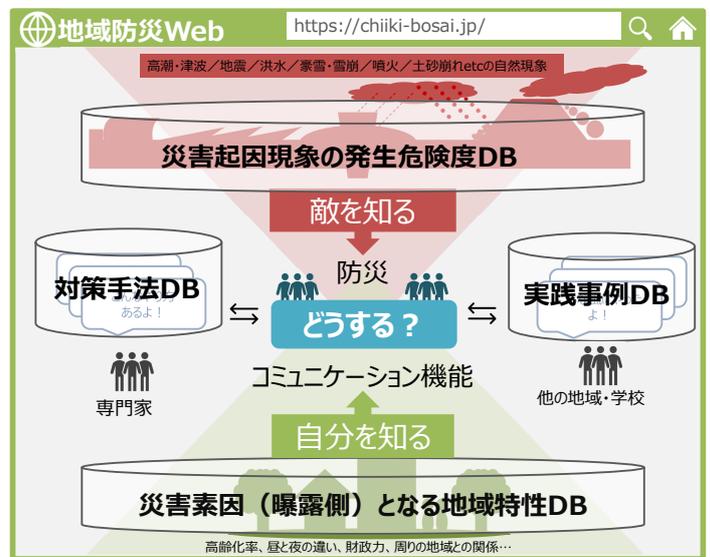


図1：地域防災Webの概要

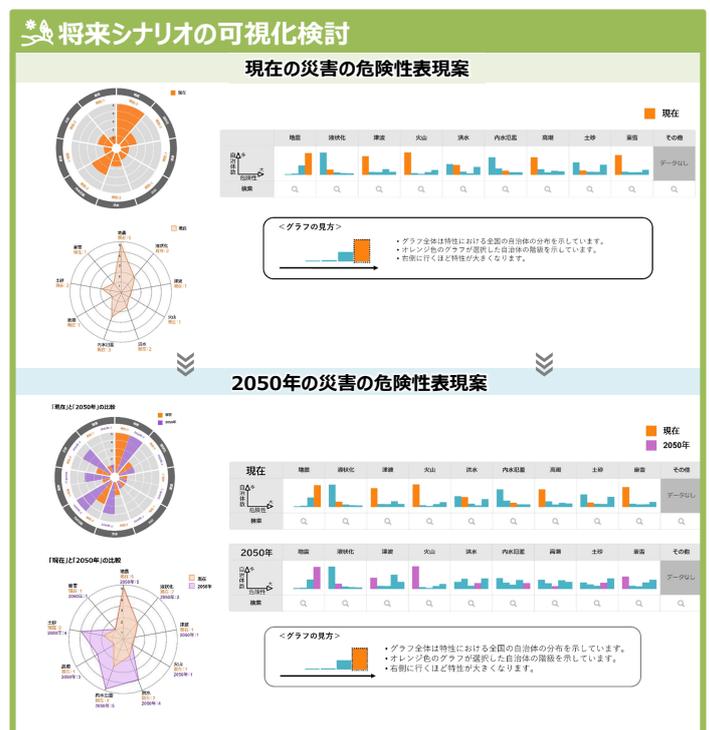


図2：気候変動を加味し災害の危険性可視化手法検討

環境研究総合推進費戦略的研究開発（I）S-21「生物多様性と社会経済的要因の統合評価モデルの構築と社会適用に関する研究」の成果の一部です。

